東京バッハ合唱団 月報

［第 679 号］2019 年 1 月号

〒156-0055 東京都世田谷区船橋 5-17-21-101
Tel: 03-3290-5731　Fax 専用: 03-3290-5732　郵便振替: 00190-3- 47604
Mail: office@bachchor-tokyo.jp　http://bachchor-tokyo.jp/

BACH-CHOR, TOKYO
Monthly Newsletter No.679
January 2019
—
5-17-21-101 Funabashi,
Setagaya-ku, Tokyo

2019 年の演奏計画をながめつつ

困難の引き継がれる 新年の想い

大村 恵美子（主宰者）

新年おめでとうございます。12 月 8 日の団員相談会では、新年 1 月からの活動計画にはまだ不明な点が多く残されており、直面する都度に即決しながら進んでゆくような、慌だしい年になりそうに思われました。

この時点で、目標となるような、大まかなタイトルを、“一年の計は元旦に”と言われるままに、あげておきましょう。

5 月 18 日（土）
第 118 回定期演奏会（府中の森芸術劇場）

概要を右に掲げます。チラシを同封しました、ご参照ください。12 月よりチケット発売。

新年 2019 年の前半は、この定期演奏会を軸に展開されることになります。

1 月 12 日（土）、14 日（月/祭）
公開ワークショップ「バッハを日本語で歌う」

この両日が初練習ですが、ワークショップ形式による練習として公開することにしました。年末の都内コンサート会場でチラシ（同封のもの）を配布しましたので、多くの方が参加なさるでしょう。

今回定演での合唱の出番は、カンタータ第 109 番と第 79 番の各冒頭合唱、全 4 曲の終結コラールと 166 番と 79 番の中間にあるコラール(ただし 166 番ではソプラノ独唱の指定ですが、全員で覚えます）の、計 8 曲です。これらを、2 日間で音取りしてみようと思っています（詳細は次ページ)。

＜次回公演＞

第 118 回定期演奏会

◆日時：2019 年 5 月 18 日（土）午後 2 時開演
◆会場：府中の森芸術劇場ウィーンホール

◆曲目：J.S.バッハ（日本語上演・大村恵美子訳詞）
- **カンタータ第 109 番《われは信ず わが主よ 援けたまえ》**
  Ich glaube, lieber Herr, hilf meinem Unglauben BWV 109
- **カンタータ第 166 番《いずこへ 主よ 行きたもう》**
  Wo gehest du hin BWV 166
- **カンタータ第 188 番《わが堅き望み》**
  Ich habe meine Zuversicht BWV 188
- **カンタータ第 79 番《神は わが光 盾》**
  Gott der Herr ist Sonn und Schild BWV 79

◆演奏：
［ソプラノ］光野孝子　［アルト］谷地畝晶子
［テノール］鏡貴之　［バス］小藤洋平
［室内楽］東京カンタータ室内管弦楽団
［オルガン］新妻由加
［指揮］大村恵美子

入場券：全自由席 3500 円
（発売開始 2018 年 12 月中）
お問い合わせ：事務局（本紙タイトル囲み内）

5 月 25 日（土） 荻窪教会コンサート

5 月の定期演奏会が終わった翌週に、曲目中から次の 13 曲を抜粋演奏（約 50 分)。上記ワークショップで取りあげた合唱部分に加えて、独唱・重唱用の曲も何曲か、合唱団員の斉唱・重唱で歌うこととし、できたらいくつかの器楽にも加わっていただきたいと望んでいます。プログラムは次のとおり：

BWV 109……1）合唱、5）A アリア、6）コラール（17 分）
BWV 166……1）B アリア、3）S コラール、6）コラール（6 分）
BWV 188…… 2）T アリア、5）S レチタティーヴォ、6）コラール（10 分）

～ 東京バッハ合唱団〈118 定演〉の曲目を
日本語で体験してみましょう ～

公開ワークショップ「バッハを日本語で歌う」

＜参加無料・見学歓迎＞

会場：**日本キリスト教団 荻窪教会**

日時：2019 年

❶ 1 月 12 日（土）
❷ 1 月 14 日（月/祭）
両日とも 15:30-17:30

（ふだんの月曜の練習は目白聖公会ですが、当日にかぎり、ひきつづき荻窪教会です。時間・会場とも、ふだんと異なりますのでご注意ください）

＊ ＊ ＊

118 定演に登場する 6 つのコラールと 2 曲の冒頭合唱を日本語歌詞で音取りしてみましょう（指導：大村恵美子）。バッハの合唱は初体験の方も、原語ドイツ語の経験者も、お気軽に体験してみてください。2 回連続、1 回でも可。目標は、5 月のステージ！

当日、ご希望者に楽譜コピーを配布します（A4 判・50 ページ、実費 250 円。会場にて）。

●参加ご希望の方は、①お名前、②声部、③確認用メールアドレスまたは電話番号、④ご住所を明記のうえ、事務局まで メールでお申込みください。

メール office@bachchor-tokyo.jp

BWV 79…… 1）合唱、3）コラール、5）S/B アリア、6）コラール（11 分）

7 月 1 日の前後　合唱団創立記念日（57 周年）

8 月は、例年どおり野尻湖合宿がありますが、2018 年からは、小布施の音楽ファンの方々からの強いご要望で、合宿の第 1 日にまず当所に立ち寄って、野尻湖・神山教会で行うコンサートの同曲目を演奏することになりました。野尻湖合宿中の公開行事は次のとおり：

8 月 1 日（木）　小布施公演（小布施ミュージアム）
8 月 2 日（金）　ワークショップ（野尻湖公民館）
8 月 3 日（土）　野尻湖コンサート（神山教会）

団員のみなさんの負担にならないように配慮しつつ、曲目構成を検討しています。年明け早々には全貌をお知らせできるでしょう。読者のみなさんも、夏のご予定の途上でお立ち寄りいただけたら光栄です。

秋には、ある団体からの客演も打診されています。詳細を公にする段階ではありませんが、大村私案としては、

1）BWV 28 より、コラール合唱《主を頌めまつれ》
2）BWV 228 モテット 4 番《おそるな われ汝と共にあり（Fürchte dich nicht, ich bin bei dir）》
3）輪唱：ラテン語聖歌《Dona nobis pacem（平和をわれらに）》（会衆とご一緒に）

の 3 曲を考えています。

コンサートの最後に聴衆と共に短い曲を、楽譜を見ながら、楽器伴奏にも支えられて大合唱するというのは、今や内外のクラッシック楽壇でも歓迎されつつあるようです。バッハ音楽普及のためにも、折あるごとに、試みるべきだと、私は思っています。3）の輪唱はバッハ作曲ではないけれど、どんな人にも歌いやすく、そして万人が常時、中心の祈りとする内容ではないでしょうか。

12 月の公演については、2018 年の《クリスマス・オラトリオ》前半第 2 部を中心とした「天使と羊飼いのクリスマス」の教会コンサートの続編として、後半の面白そうな場面の再編集版を、同じような規模でお送りできたら、と考えています。こうして曲に慣れ、力を蓄えて、次のシーズンあたりには、みなさん念願の、トランペットとティンパニを加えたフル編成の《クリスマス・オラトリオ》を鳴り響かせたいものです。

どのような処におちつくのか、今私たちは、困難な課題のさなかにいます。《クリスマス・オラトリオ》およびその他のクリスマス用カンタータも、主として経済的裏付けにゴーサインが出ない限り、スケールの大きな内容を、先に選ぶわけにはゆかないのです。

新年は、まさにこのように大きな課題とともに始まるわけで、総力を傾けて、この年をしっかりと進んでゆきましょう。後援会員の皆様、支援資金サポーターの皆様も、7 月に創立 57 年を迎える、この「東京バッハ合唱団」をお見棄てなく、今年もどうぞ力強くお支えくださいますように。

年頭にあたり、30 年前の 1988 年 8 月 12－22 日に実施した第 2 回ヨーロッパ演奏旅行の時の、当地（アイゼナハ）の望外の新聞評を、また思い出して、新たに意欲をかき立てたいと思います。『東京バッハ合唱団 40 年の記録』（2002 年発行）の中から、テノール団員・故川戸龍夫さんの文章中に出てくる、ドイツ人音楽記者の評の引用です。川戸さんの想い出とともに、再掲載させていただきます。

☆

東京バッハ合唱団とともに 20 年

川戸龍夫（団員：テノール）

第 2 回ドイツ演奏旅行（1988 年 8 月 12 日から 10 日間）は、バッハの生地アイゼナハを訪れた。ゲオルク教会での演奏会がもっとも印象が深い。この教会はバッハが生まれてすぐ幼児洗礼を受けた教会で、そのときの洗礼盤がおいてあった。4 階まであるギャラリーもいっぱいの聴衆で埋まった。バッハとゆかりの深い地での演奏会とあって熱のこもった良い演奏ができた。地元の「テューリンゲン州新聞」が演奏会の様子と適切な評をよせているので抜粋を引用する。

この合唱団の今年の演奏旅行は、東アジア伝道会の斡旋によって実現した。

旅行の最終地となったアイゼナハの演奏会においては、マンモス的なプログラムを聴くことができた。BWV226、227 および 230 のモテットと BWV 6、131 および 215 のカンタータからの抜粋が鳴りひびいた。

合唱団は、透明で均斉のとれた音色でうらやましいほどのスマートさ、弾力性、および自然さをもって歌った。指揮者・大村恵美子は一貫して流れるようなテンポを選び、つねに幾層もの拍子群を有機的なまとまりとして把握し、そして言葉の動きを重視することによって、バッハにとってはまさに典型的である、あの音楽の一見ともなげなスウィングと、とだえることのない流出とに到達していた。

……プログラムのほとんど大部分がドイツ語で歌われたが、しかし特に日本語で歌われたカンタータ 6 番の楽曲では、歌い手たちが作品の本質に迫っているという感じを受けた。[以下略]

このような過分の賛辞をいただいたが、日本語で歌うことがバッハの曲の本質をよく伝えるということを知らされ、自信を持つことができた（前回の演奏旅行［1983 年］のときもカンタータ第 4 番《キリスト 死につながれしが》で同様な評価を受けた）。

『東京バッハ合唱団 40 年の記録』 p. 40-44

立ちはだかる電柱撤去して

これは、私が 20 年ほど前に、朝日新聞に投書したものですが、第 2 回東京オリンピックを目前に控えた現在も、全く変わりがないことに驚きます。こんな首都がまだ存在するとは、いくら「おもてなし」でほめられても、余りにも怠慢すぎませんか。（大村恵美子）

新・刊・紹・介

『現代に生きる教会 対話・共生・平和』

森野 善右衛門［著］

新教出版社
2017 年 12 月 25 日発行
本体 1500 円

大村 恵美子（主宰者）

このような欄（新刊紹介）に、掲載させていただくのは、じゃっかん不適応だとは思いますが、どうぞお許しください。

11 月 3 日の「日本エキュメニカル協会主催・第 2 回講演と音楽の集い」に伺って、その場で、森野善右衛門先生にお会いしました。先生は、昨年［2017 年］のクリスマスに出版なさった御著書を、私のためにお持ちくださり、ご寄贈くださったのです。昨 2017 年 3 月に、先生が日本基督教団の巡回牧師を引退なさったことは、すでに承知していましたが、このご本を、私たちのモテット演奏の機会に、ご褒美のようにいただいて、すっかりうれしくなりました。そして、帰宅後、また一晩で一通り読了し、合唱団員方にも、これをご褒美にしたくなって、全 236 頁からほんの一部に絞ってコピーし、お頒けすることにしてしまいました（著者にお許しを得て）。

まことに豊富な内容を、月報読者の皆様もぜひお読みくだされば幸甚です。来るべき新年に平和を告げるラッパの役目となることを期待しつつ。

（2018 年 12 月 6 日）

1998.1.27

立ちはだかる電柱撤去して

東京都 大村 恵美子（音楽家 66歳）

歩道といわず車道と言わず、行く手に立ちはだかるあのみにくくて危険な電信柱。あれがいつ無くなるのかと期待し続けて何十年。

日本が先進国の仲間入りをし、通信産業でも世界の先端を追う現在でも、あの電信柱は私たちの日常の生活を圧迫し続け、また不思議なことに、これだけ海外旅行や海外生活をする人がふえても、それに異を唱える声があがらない。私は、国の文明は、上下水道のようなものの普及完備や、電柱の撤去など、ごく日常の市民生活が保護されてこそ、語る資格のある国といえると思う。

このような感覚のアンバランスは、日本の現状の至るところに見られ、わずかな時日のうちに近代から現代へと駆け上がって来た日本人の目標が、何を火急と、また何を不急と見なして来たかをうかがわせる。

多数の無名の市民の利害よりも、ごく少数の政治や企業の既得権を放さない浅ましさが、日々マスコミをにぎわす犯罪となって社会をおおいつくし、世界からの不信の目を強め、日本の将来をせはめつつあるのだ。

お金がかかるからとの理由で後まわしにされ、無視される市民の犠牲の上に立つ事業を、この際いっきょに公共事業の本筋に取り戻そう。電信柱を撤去しよう。

かたえくぼ

『新シリーズ映画化』社長はつらいよ！

松竹

（東京・あた坊）

早急に

ブライトコプフ［日本語版］バッハ・カンタータ楽譜集

最新刊、4 冊同時発売!!

先月号月報にひきつづき、訳詞つき楽譜のＰＲをさせていただきます。

「Bach 年」の 2000 年（歿後 250 年）から刊行を開始した日本語版のバッハ教会カンタータの楽譜が、いつの間にか右に掲げる背丈に達しました。

「バッハ・カンタータ 50 曲選」と銘うって、最初の 5 年で一挙に 50 点を出版し、以降は定期公演のたびに、未刊行の楽譜を上梓しつづけています。今回は、第 118 回定期演奏会の曲目 4 曲分です。第 79 番をのぞく 3 曲が、日本語上演初演です。

■カンタータ第 79 番《神は わが光 盾》
Gott der Herr ist Sonn und Schild BWV 79
ISBN 978-4-925234-80-1、2100 円

■カンタータ第 109 番《われは信ず わが主よ 援けたまえ》
Ich glaube, lieber Herr, hilf meinem Unglauben BWV 109
ISBN 978-4-925234-81-8、2000 円

■カンタータ第 166 番《いずこへ 主よ 行きたもう》
Wo gehest du hin　BWV 166
ISBN 978-4-925234-82-5、1800 円

■カンタータ第 188 番《わが堅き望み》
Ich habe meine Zuversicht BWV 188
ISBN 978-4-925234-83-2、2000 円

この発行で､既刊曲数は 77 曲になり、バッハの残したカンタータ（確かな伝承のもの）190 余曲の 3 分の 1 を超えたところ、道半ばにも届きませんが。

それでも、小さなアマチュア合唱団が自家出版で、良くやってる訳です（?!）

バッハを歌う合唱団や聖歌隊でのご使用をおすすめします。

楽譜のお求めは、事務局まで。

（K）

カンタータ	日本語曲名（大村恵美子・訳詞）	原詞曲名	BWV 番号	本体価格
第 1 番	あしたに輝く たえなる星よ	Wie schön leuchtet der Morgenstern	BWV 1	¥1,700
第 4 番	キリスト 死につながれしが	Christ lag in Todesbanden	BWV 4	¥1,900
第 6 番	とどまれ我らと 夕闇せまり	Bleib bei uns, denn es will Abend werden	BWV 6	¥1,400
第 8 番	み神よ わが死はいつ	Liebster Gott, wann werd ich sterben	BWV 8	¥1,600
第 14 番	かたえに 主 いまさずば	Wär Gott nicht mit uns diese Zeit	BWV 14	¥1,900
第 16 番	主 ほめ歌わん	Herr Gott, dich loben wir	BWV 16	¥1,400
第 17 番	感謝ささげ 頌め歌う者に	Wer Dank opfert, der preiset mich	BWV 17	¥1,400
第 19 番	戦い かくて起これり	Es erhub sich ein Streit	BWV 19	¥1,700
第 21 番	われは 憂いに沈みぬ	Ich hatte viel Bekümmernis	BWV 21	¥1,900
第 26 番	はかなく むなしき 地なるいのち	Ach wie flüchtig, ach wie nichtig	BWV 26	¥1,400
第 28 番	頌むべきかな 年終り	Gottlob! nun geht das Jahr zu Ende	BWV 28	¥2,200
第 29 番	み神に 謝しまつらん	Wir danken dir, Gott, wir danken dir	BWV 29	¥1,500
第 30 番	よろこべ 救われし民	Freue dich, erlöste Schar	BWV 30	¥2,000
第 36 番	喜びのぼれ いと高き星に	Schwingt freudig euch empor	BWV 36	¥1,900
第 39 番	あたえよパンを 飢えたる者に	Brich dem Hungrigen dein Brot	BWV 39	¥1,700
第 40 番	地に来ませり 神のみ子	Dazu ist erschienen der Sohn Gottes	BWV 40	¥1,600
第 41 番	イェスを頌めよ 新たの年に	Jesu, nun sei gepreiset	BWV 41	¥1,600
第 42 番	同じ安息日の夕べ	Am Abend aber desselbigen Sabbats	BWV 42	¥1,800
第 45 番	主は告げぬ よき行いの何なるかを	Es ist dir gesagt, Mensch, was gut ist	BWV 45	¥1,600
第 47 番	おのれを高むる者は 低くせられ	Wer sich selbst erhöhet, der soll erniedriget werden	BWV 47	¥1,400
第 52 番	悪しきこの世よ なれを頼まじ	Falsche Welt, dir trau ich nicht	BWV 52	¥1,200
第 56 番	十字架を 勇みて負わん	Ich will den Kreuzstab gerne tragen	BWV 56	¥1,200
第 61 番	いざ来たりませ 世の救い主（I）	Nun komm, der Heiden Heiland（I）	BWV 61	¥1,400
第 62 番	いざ来たりませ 世の救い主（II）	Nun komm, der Heiden Heiland（II）	BWV 62	¥1,900
第 63 番	彫りきざめ この日	Christen, ätzet diesen Tag	BWV 63	¥1,800
第 65 番	もろびと シバより来たりて	Sie werden aus Saba alle kommen	BWV 65	¥1,500
第 67 番	留めよ 心にイェスを	Halt im Gedächtnis Jesum Christ	BWV 67	¥1,400
第 68 番	み神はこの世を かく愛したまえり	Also hat Gott die Welt geliebt	BWV 68	¥1,600
第 71 番	主は わが君	Gott ist mein König	BWV 71	¥1,700
第 72 番	みなすべて み心のままに	Alles nur nach Gottes Willen	BWV 72	¥1,500
第 75 番	貧しき者は 食し	Die Elenden sollen essen	BWV 75	¥1,800
第 76 番	主の栄光を 天は語り	Die Himmel erzählen die Ehre Gottes	BWV 76	¥1,900
第 77 番	主を愛すべし 心のかぎり	Du sollt Gott, deinen Herren, lieben	BWV 77	¥1,400
第 78 番	イェス わが心を	Jesu, der du meine Seele	BWV 78	¥1,700
第 79 番	神は わが光 盾	Gott der Herr ist Sonn und Schild	BWV 79	¥2,100
第 80 番	かたき砦ぞ わが主は	Ein feste Burg ist unser Gott	BWV 80	¥2,000
第 81 番	主イェス眠り いかにすべきわが望み	Jesus schläft, was soll ich hoffen?	BWV 81	¥1,400
第 82 番	われ 足れり	Ich habe genung	BWV 82	¥1,600
第 84 番	われ足れり わが幸に	Ich bin vergnügt mit meinem Glücke	BWV 84	¥1,200
第 92 番	わが心 思い 神にゆだねたり	Ich hab in Gottes Herz und Sinn	BWV 92	¥1,900
第 93 番	ただ 主に よりたのみ	Wer nur den lieben Gott läßt walten	BWV 93	¥1,500
第 97 番	わがすべてのわざ 主に導かる	In allen meinen Taten	BWV 97	¥1,900
第 99 番	神のみわざこそ ことごと善けれ	Was Gott tut, das ist wohlgetan	BWV 99	¥1,400
第 102 番	主の目は 信仰を見たもう	Herr, deine Augen sehen nach dem Glauben	BWV 102	¥1,500
第 104 番	牧人 主よ きけよ	Du Hirte Israel, höre	BWV 104	¥1,600
第 106 番	神の時は いとも正し	Gottes Zeit ist die allerbeste Zeit	BWV 106	¥1,400
第 109 番	われは信ず わが主よ 援けたまえ	Ich glaube, lieber Herr, hilf meinem Unglauben!	BWV 109	¥2,000
第 110 番	よろこび 笑い あふれ	Unser Mund sei voll Lachens	BWV 110	¥1,700
第 111 番	み心は つねに成し遂げらる	Was mein Gott will, das g'scheh allzeit	BWV 111	¥1,400
第 116 番	平和の君 イェス	Du Friedefürst, Herr Jesu Christ	BWV 116	¥1,500
第 122 番	新たのみどり児 小さきわがイェスは	Das neugeborne Kindelein	BWV 122	¥1,300
第 123 番	いとしインマヌエル わが魂の救い主よ	Liebster Immanuel, Herzog der Frommen	BWV 123	¥1,300
第 124 番	イェス ともにあらん	Meinen Jesum laß ich nicht	BWV 124	¥1,400
第 129 番	ほめ讃えよ 主を	Gelobet sei der Herr, mein Gott	BWV 129	¥1,600
第 131 番	深みより 主よ われはなれを呼ぶ	Aus der Tiefen rufe ich, Herr, zu dir	BWV 131	¥1,800
第 137 番	頌めよ主を 強き栄えの君を	Lobe den Herren, den mächtigen König der Ehren	BWV 137	¥1,500
第 140 番	目覚めよと 呼ばわる ものみの声高し	Wachet auf, ruft uns die Stimme	BWV 140	¥1,900
第 147 番	心と日々のわざもて	Herz und Mund und Tat und Leben	BWV 147	¥2,100
第 148 番	み名の栄光を 讃えよ	Bringet dem Herrn Ehre seines Namens	BWV 148	¥1,600
第 150 番	なれを 主よ われは仰ぐ	Nach dir, Herr, verlanget mich	BWV 150	¥1,700
第 156 番	墓に 片足入れ	Ich steh mit einem Fuß im Grabe	BWV 156	¥1,200
第 166 番	いずこへ 主よ 行きたもう	Wo gehest du hin?	BWV 166	¥1,800
第 169 番	神にのみ わが心 献げん	Gott soll allein mein Herze haben	BWV 169	¥1,300
第 176 番	抗い また怯むは こころの常	Es ist ein trotzig und verzagt Ding	BWV 176	¥1,800
第 177 番	呼びまつる イェスよ	Ich ruf zu dir, Herr Jesu Christ	BWV 177	¥2,100
第 178 番	主 われらに いまさずば	Wo Gott der Herr nicht bei uns hält	BWV 178	¥2,700
第 180 番	装え 心よ 罪の闇を去り	Schmücke dich, o liebe Seele	BWV 180	¥1,500
第 182 番	あまつ君を 喜び迎えん	Himmelskönig, sei willkommen	BWV 182	¥1,600
第 187 番	待ち望む みな なれを	Es wartet alles auf dich	BWV 187	¥1,600
第 188 番	わが堅き望み	Ich habe meine Zuversicht	BWV 188	¥2,000
第 190 番	主にむかいて歌え 新たなる歌を	Singet dem Herrn ein neues Lied!	BWV 190	¥1,500
第 191 番	グロリア 高き天なる神に	Gloria in excelsis Deo	BWV 191	¥1,800
第 192 番	ああ 感謝せん 神に	Nun danket alle Gott	BWV 192	¥1,400
第 194 番	大いなるこの日 新たの宮を	Höchsterwünschtes Freudenfest	BWV 194	¥1,900
第 196 番	主は おぼえたもう われらを	Der Herr denket an uns	BWV 196	¥1,200
第 197 番	主 かたき望み	Gott ist unsre Zuversicht	BWV 197	¥1,700
＜世俗カンタータ＞				
第 214 番	太鼓よ鳴れ ラッパよ響け	Tönet, ihr Pauken!　Erschallet, Trompeten!	BWV 214	¥2,000